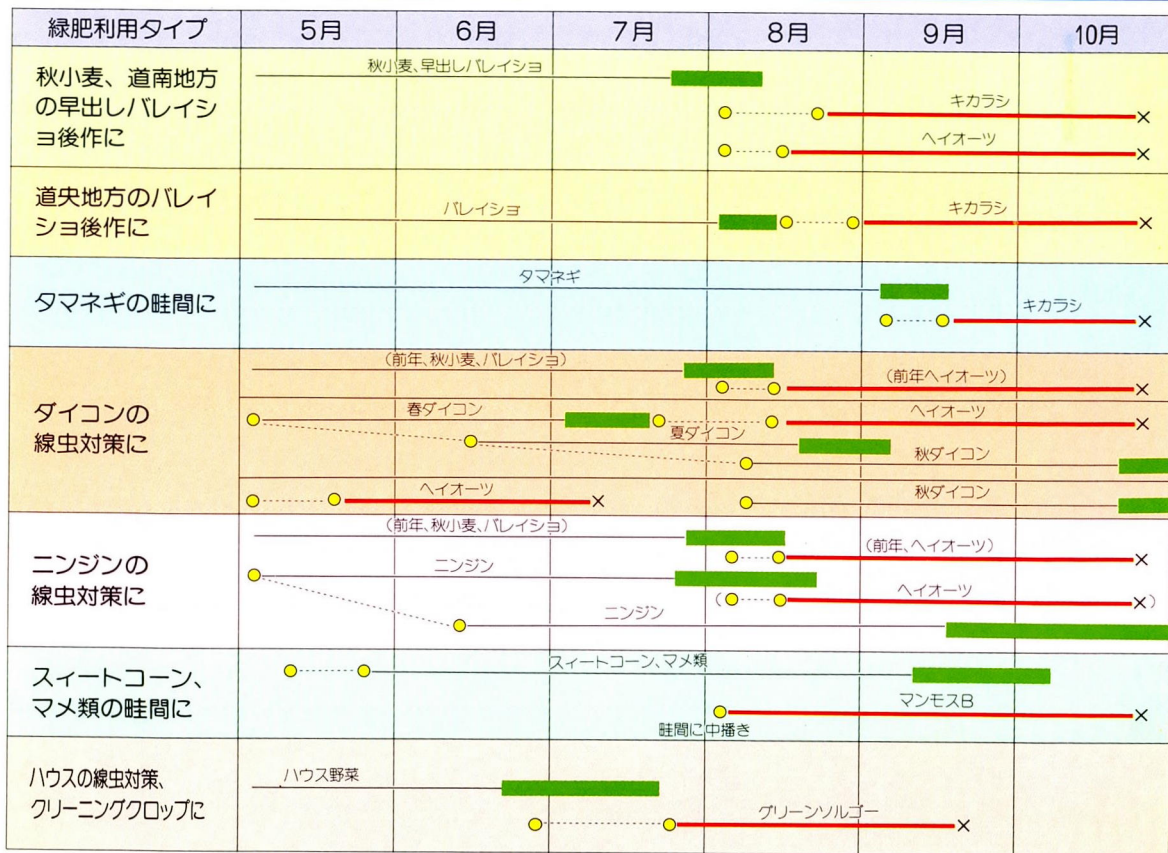


夏播き緑肥作物特性一覧表

品 種	タイプ	播種期	すき込み期	播 種 量 (kg/10a)	特 性
キカラシ	後 作	8上～下 9上 (タマネギ畦間)	10中～下 10下	2 4	生育旺盛、短期で乾物極多収。アブラナ科の新緑肥作物。エンバクに比べ、播種期が広い。窒素の施用、排水を良好にする。アブラナの後作は避ける。
ヘイオーツ	後 作	8上～中	10中～下	10～15	細茎・多葉のエンバク野生種。種子が小粒で播き得。キタネグサレセンチュウを低減（ダイコン、ニンジン、ゴボウの線虫対策に最適）。8月中旬以降の播種ではキカラシが多収。
マンモスB (イタリアン ライグラス)	間 作	7下～8上	10下	2～4	4倍体の極多収品種。特に根が豊富で微生物の増殖が期待できる。バラ播きが可能。遮光にも強い。マメ類、スイートコーンの畦間に最適。
グリーンソルゴー	休 閑	8上 (施設ハウス)	9下	5	線虫対抗作物(サツマイモネコブセンチュウ)。施設ハウスのクリーニングクローブに最適。根が深く、粗大有機物が得られる。

夏播き緑肥作物栽培体系



— 主作物、■ 主作物収穫期、— 緑肥作物、● 播種期、× すすき込み期